



# 通信

HP 学校だより  
R8.3.18  
NO.43  
文責 伊藤美佳



## 卒業式への道のり

3月19日（金）は第117回豊坂小学校卒業証書授与式が行われます。そして、今日は、卒業記念品授与式、同窓会入会式が行われます。6年生とともに過ごすことのできるこの2日を大切にしてほしいと思っています。

卒業式は学校の中で一番大切な式です。そのために、主役である6年生は、「6年生を送る会」が終わってから少しずつ練習を重ねてきました。「卒業証書授与」はもちろん、「礼」や「返事」、「座っている姿」どれもが「主役として恥ずかしくないか」と問いながらの練習だったと思います。コロナ禍を経て、以前ほどは練習しなくなったとはいえ、それでも一番大切な式の主役として、重責を担っていることに変わりはありません。緊張感をもって練習に臨んでいる6年生の姿は下級生の「あこがれ」の存在であると感じました。

4、5年生は在校生代表として卒業式に参加しますが、1、2、3年生は教室でテレビ越しの参加です。4、5年生は1～3年生の思いを感じ、代表として参加する意味をしっかりと理解して臨み、5学年分以上の歌声を届けてくれると期待しています。

1～3年生は、卒業式後の見送りの式で、卒業式を終えた6年生の花道を作り、気持ちを込めて送ります。卒業式の歌は、4、5年生とともに歌います。特に、6年生とともに歌う最後の「校歌」は、豊坂っ子、そしてそこにいる人々の思いが結集します。体育館だけでなく、校舎からも歌声が聞こえる豊坂小学校の卒業式がとても好きです。

最後に。6年生の思い出に残り、みんなの心に響く卒業式となるように、準備をしてくださっている方々がいることを、絶対に忘れてはいけません。何かを成し遂げるためには、そこに至るまでに多くの人々が関わり、協力し、影となり、日向となって助けてくださっています。そのことを、子どもたちにもしっかりと意識してもらえるように、伝えているつもりです。ご家庭でも、この時期だからこそその話題として、お話いただければと思います。

卒業式がすてきな日となりますように

## 最近思うこと

3学期が始まって寒い日が続いたので、下を向いていたり、声が小さく元気がなかったり、と気持ちのよいあいさつをしてくれる子が少なかったことを残念に思っていました。ところが最近、春めいてきて、天気の良いことも関係しているとは思いますが、多くの豊坂っ子が笑顔で元気よくあいさつしてくれるので、パワーをたくさんもらっています。

たかが「あいさつ」、されど「あいさつ」なのだ実感します。人と人をつなぐ役割を「あいさつ」が担っているのです。「あいさつ」の様子で、「今日、家を出る時何かあったかな？」とか「今日は、いいことあったんだな」など感じ取れます。子どもたちはとても素直に、自分の感情をだします。大人が、そのサインに気付き、応えていくことで子どもたちの心が満たされていくのではないのでしょうか。

笑顔であいさつできる豊坂っ子が増えてきていることに喜びを感じる今日この頃です。また、地域の見守り隊の方たちからも、「最近、よくあいさつができるようになったね」と言っていただけでした。うれしいことです。